

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/6	腫瘍学総論	1. 腫瘍の発生原因を説明できる。 2. 腫瘍の病理学的、生物学的意義を説明できる。	B 板書により解説する。 P105-P139	窪田展久	D-4-5) 必14-A-g 総-(VI)-7
2	4/9		1. 腫瘍の定義を述べるができる。 2. 腫瘍を発生母組織に基づいて分類できる。	B 板書により解説する。 P105-P139	窪田展久	D-4-5) 必14-A-g 総-(VI)-7
3	4/16		1. 悪性腫瘍と良性腫瘍の差異を述べるができる。 2. 転移形式について説明できる。 3. 異型性の概念を述べるができる。 4. 非上皮性腫瘍と上皮性腫瘍との違いを具体的に述べるができる。	B 板書により解説する。 P105-P139	窪田展久	D-4-5) 必14-A-g 総-(VI)-7
4	4/23		1. 分類に基づき具体的な例を列挙できる。 2. 上皮性異形成の概念を説明できる。 3. 前癌状態と前癌病変の違いを説明できる。 4. 腫瘍の疫学を説明できる。	B 板書により解説する。 P105-P139	窪田展久	D-4-5) 必14-A-g 総-(VI)-7
5	4/30	口腔腫瘍病理学	1. 口腔腫瘍を分類でき、臨床病理学的特徴を説明できる。 2. 非歯原性腫瘍を分類できる。	A 板書により解説する。 P195-P228	窪田展久	F -2-4)-(3)- ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩⑫⑬) 必14-B-j 各 - IV -(I)-5-B ~ O
6	5/7		1. 非歯原性上皮性良性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。 2. 非歯原性上皮性悪性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。		窪田展久	F -2-4)-(3)- ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩⑫⑬) 必14-B-j 各 - IV -(I)-5-B ~ O
7	5/14		1. 非歯原性非上皮性良性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。 2. 非歯原性非上皮性悪性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。		窪田展久	F -2-4)-(3)- ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩⑫⑬) 必14-B-j 各 - IV -(I)-5-B ~ O
8	5/21		腫瘍状病変を分類し、病理学的所見を説明できる。		窪田展久	F -2-4)-(3)- ⑤ ⑥ ⑦ ⑨ ⑩⑫⑬) 必14-B-j 各 - IV -(I)-5-B ~ O
9	5/28		1. 歯の発生を説明できる。 2. 歯原性腫瘍を分類できる。 3. 歯原性良性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。	A 板書により解説する。 p173-P193	槻木恵一	F-2-4)-(3)-(7)⑬ F-3-1-①) 必14-B-j 各 - IV -(I)-5-B
10	6/4		歯原性悪性腫瘍の具体例をあげて病理学的所見を説明できる。		槻木恵一	必13- B - i 必14-B-j 各 - IV -(I)-5-B
11	6/11		1. 唾液腺の構造を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の分類と臨床病理学的特徴を説明できる。	A 板書により解説する。 P240-P252	槻木恵一	F-2-4)-(5)-①~⑤ D-2-3)-(11)-③ F-2-2)-(4)⑤)
12	6/18		唾液腺腫瘍の分類と臨床病理学的特徴を説明できる。		槻木恵一	必14-B-j 各 - IV -(III)-1-U · V
13	6/25	病理検査医学	1. 病理診断の意義を説明できる。 2. 細胞診・組織診・病理解剖の意義を説明できる。 3. 固定法・標本作製過程が説明できる。	A 板書により解説する。 P273-P280	窪田展久	F-2-4)-(3)-⑦) 必11-F 総 II -(IX)-3-G
14	7/2		免疫組織化学染色の意義と代表的な腫瘍マーカーを説明できる。	パワーポイントにより解説する。	長島洋治 (招聘講師) ・槻木恵一	F-2-4)-(3)-⑦) 必11-F 総 -(IX)-3-G
15	7/9	理学 全身腫瘍病	1. 臓器不全による死を説明できる。 2. 病理解剖の症例の死因を説明できる。	//	津浦幸夫 (招聘講師) ・槻木恵一	必11-F 総 -(IV)-13